



Cloud Manager SaaS に関する FAQ です

Cloud Manager

Ben Cammett, Tom Onacki
June 06, 2021

目次

| | |
|--|---|
| Cloud Manager SaaS に関する FAQ です | 1 |
| 2020 年 8 月 3 日に Cloud Manager SaaS リリースに導入された機能はどれですか？ | 1 |
| VPC / VNet に導入された Cloud Manager インスタンスはどうなりますか。 | 1 |
| SaaS プラットフォームを使用しているのでコネクタを取り外してもよろしいですか？ | 2 |
| SaaS ベースのサブスクリプションが必要になる状況 | 2 |
| 以前と同じ方法で Cloud Manager を使用できますか（ VPC に導入されたインスタンスを使用してローカルで実行）？ | 3 |
| 移行や、 Cloud Manager SaaS への移行に必要な具体的な対応はありますか。 | 3 |
| Cloud Volumes ONTAP | 3 |
| または保存されているデータは変化しましたか？それともどこにでも移動しましたか？ | 3 |
| Cloud Manager SaaS プラットフォームのエンドポイントはどこにありますか。 | 3 |
| Cloud Manager SaaS | 3 |
| サービスレイヤにはどのような種類のデータやメタデータが格納されていますか？ | 3 |
| VPC / VNet に導入されたコネクタによって格納されるデータやメタデータは何ですか。 | 3 |
| データパスとメタデータパスについて教えてください。 | 3 |
| SaaS エンドポイント経由でクラウドデータセンササービスを使用すると、 GDPR の影響はありますか。 | 4 |
| SaaS ベースの UI および API | 4 |
| からコネクタへのアクセスに使用されるネットワーク方向アクセスの種類を教えてください。 | 4 |
| ログインフローは変化しましたか。 | 4 |
| SaaS ベースの Cloud Manager （ SOC2、 FedRAMP など）は準拠していますか？ | 4 |

Cloud Manager SaaS に関する FAQ です

この FAQ では、新しい Cloud Manager SaaS リリースに関連する主な質問とその回答を記載しています。

2020 年 8 月 3 日に Cloud Manager SaaS リリースに導入された機能はどれですか？

- * 統一された API と UI *

NetApp ONTAP ベースのすべてのストレージソリューションを対象とした一元化された統合型の API コントロールプレーンで、お客様は次の項目を管理、制御できます。

- Azure NetApp Files の特長
- Cloud Volumes Service for AWS
- Cloud Volumes Service for Google Cloud
- Cloud Volumes ONTAP

- * ネットアップのデータサービスとのシームレスな統合 *

スムーズな統合を実現するため、ストレージソリューションには統合が容易なデータサービスが組み込まれています。

- * 複数の環境の一元管理 *

複数の環境の導入と管理が簡易化されました。以前のリリースでは、Cloud Manager インスタンスを必要とするすべての場所に導入する必要がありました。新しいリリースでは、Cloud Manager エージェントの名前が `Connector_connector` に変更されました。

複数の NetApp Cloud Central アカウントまたはコネクタを持つユーザは、異なるアカウント間や異なる環境間で簡単に切り替えることができます。

- * API および UI のパブリックエンドポイント *

新しいリリースでは、API とにアクセスできます を使用して、Cloud Manager 用の GUI をセキュアに設定できます ""。

VPC / VNet に導入された Cloud Manager インスタンスはどうなりますか。

前述のように、お客様のネットワークに導入された Cloud Manager インスタンスは、_ コネクタ _ と呼ばれるようになります。

コネクタの役割は変更されていません。お客様のパブリッククラウドネットワーク内のリソースとプロセスを管理する目的は、従来と同じです。

SaaS プラットフォームを使用しているのでコネクタを取り外してもよろしいですか？

いいえ、できません。Connector は、Cloud Volumes ONTAP の導入と管理、Cloud Backup の有効化、Cloud Data Sense の導入など、パブリッククラウド環境内でリソースやプロセスを管理するために使用されたソフトウェアと同じです。

SaaS ベースのサブスクリプションが必要になる状況

SaaS ベースのサブスクリプションは、クラウドプロバイダのマーケットプレイスから入手し、従量課金制で次のサービスを利用できます：

- Cloud Volumes ONTAP（AWS と GCP ではバージョン 9.6、Azure ではバージョン 9.7 以降）
- クラウドバックアップ
- クラウドデータの意味
- クラウド階層化

Cloud Volumes ONTAP、クラウドバックアップ、クラウド階層化の場合は、ネットアップからライセンスを直接購入することもできます。このような場合、SaaS ベースのサブスクリプションは必要ありません。

SaaS ベースのサブスクリプションは、クラウドデータを利用した場合の唯一の支払い方法です。

これらのサービスの利用を開始すると、Cloud Manager はサブスクリプションが設定されていない場合にサブスクライブするよう求めます。登録が必要になるのは 1 回だけです。Cloud Manager は、これらのサービスごとに同じサブスクリプションを使用します。

次のリンクから、これらのサービスの価格とサブスクリプションの詳細を確認できます。

- Cloud Volumes ONTAP
 - ["Cloud Volumes ONTAP for AWS に登録する方法をご確認ください"](#)
 - ["Cloud Volumes ONTAP for Azure の配信登録方法をご確認ください"](#)
 - ["Cloud Volumes ONTAP for Google に登録する方法について説明します クラウド"](#)
- クラウドバックアップ
 - ["Cloud Backup のコストをご確認ください"](#)
- クラウド階層化
 - ["Cloud Tiering の価格とライセンスについてご確認ください"](#)
 - ["Cloud Tiering のライセンスを設定する方法について説明します"](#)
- クラウドデータの意味
 - ["クラウドデータの意味に関するコストをご確認ください"](#)
 - ["Cloud Data Sense への登録方法をご確認ください"](#)

以前と同じ方法で **Cloud Manager** を使用できますか（ **VPC** に導入されたインスタンスを使用してローカルで実行）？

はい。 * コネクタ * メニューをクリックし、 * ローカル UI へ移動 * をクリックするか、コネクタの IP アドレスを Web ブラウザーに直接入力することで、この操作を行うことができます。

移行や、 **Cloud Manager SaaS** への移行に必要な具体的な対応はありますか。

必要はありません。参照してください [""](#) 作業を開始します。Cloud Manager へのアクセスは、許可されたユーザにのみ許可されます。

Cloud Volumes ONTAP または保存されているデータは変化しましたか？それともどこにでも移動しましたか？

いいえVPC または VNet 内で管理下に常に存在しています。

Cloud Manager SaaS プラットフォームのエンドポイントはどこにありますか。

ネットアップがパブリッククラウドでセキュアに運用しています。

Cloud Manager SaaS サービスレイヤにはどのような種類のデータやメタデータが格納されていますか？

Cloud Manager SaaS サービスレイヤにデータが格納されることはありません。

SaaS プラットフォームは、ユーザの Web ブラウザとローカルコネクタ間、または Cloud Manager に統合された各種ネットアップサービス間の API コール（ネットアップ署名証明書付き HTTPS）の安全なパイプラインとして使用されます。

VPC / VNet に導入されたコネクタによって格納されるデータやメタデータは何ですか。

コネクタ / Cloud Manager は変更されていません。以前のリリースと同じデータが保存されています。Cloud Volumes ONTAP の導入と管理、クラウドバックアップの有効化、クラウドデータの導入と使用など、パブリッククラウド環境内でリソースやプロセスを管理するために必要なメタデータのみを保持します（を参照） [" コネクタについて説明します"](#) ページを参照してください）。

データパスとメタデータパスについて教えてください。

コネクタからお客様へのデータは HTTPS 経由で転送され、ネットアップの証明書で暗号化されて署名されます。SaaS ベースの UI は、クライアントの Web ブラウザとコネクタの間のセキュアなパイプラインとして機能します。これは、許可されたユーザのみがコネクタからのデータにアクセスできることを意味します。

クラウドデータセンササービスを利用するお客様は、エンドツーエンドで暗号化されるようになりましたWebブラウザとコネクタの間で鍵の交換が行われるため、ネットアップはデータを読み取ることができません。 "[クラウドデータセンサの詳細をご確認ください](#)。

SaaS エンドポイント経由でクラウドデータセンササービスを使用すると、**GDPR** の影響はありますか。

データはエンドツーエンドで暗号化されますWeb ブラウザとコネクタの間で鍵の交換が行われるため、ネットアップはデータを読み取ることができません。

SaaS ベースの **UI** および **API** からコネクタへのアクセスに使用されるネットワーク方向アクセスの種類を教えてください。

- お客様の VPC / VNet から SaaS ベースの UI への通信は `_OUTBOUND_` のみであるため、コネクタによってのみ開始されます。
- コネクタは、セキュアなチャネル上で SaaS ベースのサービス層からアップデートをポーリングします。
- すべての API 呼び出しで、認証と許可を使用してアクセスが保護されていることを確認します。

つまり、ネットワーク内のポートやエンドポイントを開く必要がなくなります。

- ユーザのブラウザクライアントと SaaS ベースの UI 間の通信には、ネットアップ署名証明書を使用した HTTPS が使用されます。

ログインフローは変化しましたか。

いいえ。ログインフローは以前のリリースと同じです。ユーザがログインすると（SSO またはクレデンシャル）、認証は以前と同様に Auth0 に対して行われます。

次の点に注意してください。

- SSO またはフェデレーションが設定されている場合は、使用されていたのと同じセキュリティ手順がまだ実行されています。会社の施設では、アクセスが連携しています。連携アクセスを利用する場合は、（会社の裁量で）MFA を追加してセキュリティを強化できます。
- ロールまたは権限に変更はありません。SaaS ベースのエンドポイントにアクセスできるのは、Cloud Central アカウントに登録されているユーザのみです。
- incognito モードの使用、またはクライアントブラウザでサードパーティのクッキーが許可されていない設定は現在サポートされていません。

SaaS ベースの **Cloud Manager**（**SOC2**、**FedRAMP** など）は準拠していますか？

Cloud Manager は SOC2 認定を取得中です。

FedRAMP 認定に従い、官公庁のクラウドリージョンに Cloud Manager Connector を導入している場合、SaaS ベースの UI は有効になりません。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.